



# のびる ほどっ子!

ほっとな未来へ 3C!

令和5年2月28日

横浜市立保土ケ谷小学校

学校長 小川 克之



## 「1年を振り返って」

学校長 小川 克之

いよいよ3月となり、令和4年度もあと1か月で終わろうとしています。

今年度は本校創立150周年の記念すべき年でした。7月に実施した「創立150周年記念式典」はコロナの影響もあり、体育館を使って集合形式で行うことはできませんでしたが、無事に終えることができました。子どもたちが主体になって取り組む式典も考えてはいたのですが、コロナが感染拡大した場合は、余儀なく中止になることも予想されていたので、段取りや運営等は教職員で行いました。

その他の行事や活動も、少しずつではありますが昨年や一昨年と比べると実施できることが多くなってきました。各学年の遠足や社会科見学を始め、4・5年生の宿泊体験学習、6年生の修学旅行等は、計画の段階で、宿泊する施設の部屋の人数が少なく決められていたり、見学施設の収容人数の関係もあり学年全体で見学することができなかつたり、費用が高かつたりしたため、担当学年の教員は何度も検討を重ねたり、念入りに下見をしたりしました。当初の予定とは違った活動になってしまったこともありましたが、コロナ対策をしっかりととりながら行うことができました。4～6年生の子どもたちは、この3年間宿泊することができなかつたのですが、初めての宿泊学習で、学ぶことが多く、思い出もたくさんつくることができました。

様々な活動や行事は子どもたちにとって忘れられない小学校生活の1ページになったに違いありません。来年度は、コロナの対応もかなり緩和されるとは思いますが、コロナ前の状況に戻るにはまだ時間がかかりそうです。そのような中でも、子どもたちを温かく見守り、励ましの声をかけながら背中をそっと押してくださった保護者の皆様に、改めて感謝申し上げます。

さて、6年生はあと17日で卒業式を迎えます。立派に巣立つこの日を迎えるまで、今まで受け持った担任を中心に多くの教職員が支援や指導をしてきました。もちろん卒業生自身のたゆまぬ努力、保護者、ご家庭の大きな支えがあり、地域の皆様の温かい見守りも不可欠でした。3月17日の卒業式は、元気で立派に育ったことへの喜び、多くの人から祝福される瞬間が、卒業生40人の一人ひとりの心にしっかりと刻みこまれるよう、丁寧に、荘厳にそして厳粛に行わなければならないと思っています。そして特別なこの日を職員一同、心からお祝いしたいと思っております。

最後になりましたが、この1年間、本校の教育活動に際しまして、多くの方々にご協力をいただきました。保護者の皆様をはじめ、地域の方々、まちとともに歩む学校づくり懇話会委員の方々、PTA役員の皆様、町内会自治会の皆様方に心より深く感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。来年度もよろしくお願い申し上げます。